

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 27 日

事業所名 児童発達支援センターはぐはぐ子ども村西都

職員 8名

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0	R5年12月より利用人数増加に伴い療育室を拡大し、スペースの確保や活用しやすいように環境を整えている。	園庭も広く環境は整っている。
	2 職員の配置数は適切である	8	0	基準以上に人員を配置している。	現状を維持する。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	0	・活動の内容に応じて間仕切りなど使い集中できる空間を工夫している。 片付け場所が分かりやすいよう玩具の写真を貼ったり、荷物の籠に児童の写真を貼る等の写真や絵を使って分かる様に工夫をしている。 ・会はボードを使って流れがわかるようにしている。	・写真や絵、図を多用して視覚支援を取り入れ環境調整をしている。療育に集中できるよう掲示物の簡素化に努め注意が逸れる物は置かない用意している。 ・女子トイレは車いす仕様になっている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	0	毎日活動後に掃除や消毒を行い清潔に努めている。また、空気清浄機の設置もしている。	これからも衛生管理に気を配り心地よく過ごせる環境を整えていく。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0	朝礼、昼礼療育後意見交換等を行い共有している。	意見を出しやすい環境作りに務める。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	保護者様からの情報は職員全体で共有している。	施設長、児発管等保護者様と直接かかわることが多い職員と情報共有を行っている。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	ホームページにて公開している。	保護者様の意見を踏まえ改善できることは早急にし、利用児も安心し楽しんで活動できるより良い環境を整えていく。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	8		第三者評価は行っていないが、外部からの意見があった場合は検討し改善できるところは行いたい。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	研修に必ず参加し資質向上に努めている。毎月ケース会議にて研修会報告や代表による講義が行われている。	研修後の報告は、書面や口頭等ケース会議や昼礼等時間を取り、職員間で共有している。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	見学の際、アセスメントをとり計画に役立てている。	保護者様のニーズに合わせた計画(目標)に向かって支援内容を考え、丁寧に関わり計画を立てている。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	アセスメント用紙を活用している。利用児の記録を毎回行い支援計画に沿った所見で記録をし把握、検討に使っている。	専門職の意見も取り入れ状況を把握している。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0	支援に必要な計画が立ててある。具体的に内容が示されている。	丁寧な支援を心掛けて設定している。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	計画に沿って職員間で共通理解をしながら取り組んでいる。 ・毎日の記録と共に支援計画も一緒にファイリングされている。	日々研鑽しより良い支援を求めて取り組んでいる。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	療法士・保育士等各分野の意見を生かしながら立案している。	全職員で情報交換をしながら取り組んでいる。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	その日の利用児の支援計画や直近の姿を基にスタッフ間で情報交換を密に行っている。	専門家の意見も取り入れながらサーキットでは3ヶ月毎に内容を変え1ヶ月毎にレベルを上げて固定化しないように、利用児が楽しめるようにしている。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	0	個々の目標を確認して活動に取り組んだり、活動後に話し合いをして多方面から意見を出し支援している。	職員間の共通理解を持って個々の達成目標に沿った活動をして行く。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	・朝礼、昼礼を行い情報交換をし共通理解を持って支援している。	療育終了後には、話し合い情報を共有し次回の活動に活かしている。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	毎日話し合いを行い振り返り、情報共有している。 ・毎日の記録を記入しながら情報交換をしている。	関連な意見を出し合っている。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	毎日記録をし、毎月カンファレンスやケース会議を行い改善に繋げている。	専門家のに質疑し意見を貰いそれを取り入れている。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	ケース会議やカンファレンスを行っている。	ケース会議には専門家も参加して計画をしている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	担当者会議は児発管が参加している。	保護者様と直接的に対応している児発管が精通していると考え参画している。必要であれば専門家の意見も取り入れ会議に参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	0	関係者の見学も受け入れ、丁寧に対応している。	関係者の要望があれば早急に受け入れ対応している。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0	関係者同士で情報交換を丁寧に行っている。担任や関係者が見学希望の時は丁寧に対応している。	個々に合わせた活動を行うためにも情報共有や理解は必要と思う。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1	情報共有をしている学校としていない学校がある。	今後さらに連携を図っていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	0	同法人内に支援センターがあるので連携をとっている。ケース会議等で代表にアドバイスをもらったり、随時密に報告、連絡、相談をしている。また、支援センターでの研修を行っている。 ・センター外研修に交代で参加している。	職員の資質向上のため助言を受け止め支援に力を入れていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	2	殆どの利用者が保育園、幼稚園との並行利用である。	イベントを行うことにより交流の機会を更に増やしていく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	1	施設長、児発管が参加している。	職員全員が参加できるようにしていきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	電話やメールにて日々の状況を伝えたり、成長を共有し喜んだりしている。 ・事前に申し込みいただき見学してもらっていいペアレントトレーニングや就学を踏まえた講話などを実施している。	懇談会などの開催を計画していく。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8	0		今後もペアレントトレーニングの回数を増やしたり、保護者様様のニーズにのっとった講話等を企画していく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	契約時に保護者様に丁寧に説明をしている。	より一層丁寧に説明をして行く。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0	文章をゆっくりと読み、保護者様に分かりやすく事例等を挙げて説明をしている。保護者様が疑問に思ったことなども対応し理解を得ている。	保護者様に分かりやすく伝え理解されるような言葉かけをして行く。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	保護者様からの相談には迅速に対応している。	こちらからの発信も増やして行きたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	3	保護者様懇談会を月に1回計画しており、保護者様同士の交流の場としても時間を共有している。	今年もコロナ禍により開催できなかったが個別に見学を設け申し出のある保護者様には迅速に対応していった。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	・相談窓口を決め相談に応じて代表、専門家、関係者、等の意見を取り入れながら対応している。 ・子ども同士の小さなトラブルでも送迎席を変えるなどの配慮を行っている。	これまでと同じく迅速な対応に努めていく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	毎月1回お便りを発行している。	お便りだけでなく子どもの成長を保護者様と共感できるようにメールや電話等で発信していきたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	職員間で共通理解をし細心の注意を払っていて、書類等は持ち出し禁止にしている。	細心の注意を重ね全職員で周知している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	信頼関係を築き丁寧にわかっている。	言葉使いや態度など伝達に配慮し行動していく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	3	・コロナウイルスの為祭りの中止があった。	今年はコロナ禍のため開催しなかった。引き続き状況を見ながら来年度は実施し地域の方との交流を図る。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	0	マニュアルは全職員が見やすい場所に設置し周知している。保護者様には書面にて周知しているが毎年書面を見直し案内していく。	全てのマニュアルを見直し、改善できるところはしていきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	・毎月避難訓練を行っている。注意点を確認し終わってから訓練の結果を話している。 ・月に一度さまざまな訓練を行っている。	地震・火災・洪水を行い、利用者全員が避難訓練に参加出来るよう日程調整をしている。具体的な計画内容(避難先、避難手段等)を保護者様様へ伝える。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	8	0	保護者様に契約時に確認し、全職員に周知する。毎月のケース会議にて毎回個々の状況を確認し周知している。 ・職員全体で情報共有をしている(熱性けいれん等)	変更があった場合もすぐに職員間で話し周知している。通園している保育園等と情報共有も強化していく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2	個々のアレルギー食を記載し貼りだし、全職員が周知、確認できるようにしている。 ・職員全体でアレルギーの把握をしている。	保護者様にはアレルギー食の確認をしている。また、改善された時や追加された時は随時知らせてもらうようにしている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	ヒヤリハット事例集を作成して職員間で周知するとともに環境整備や資質向上に役立てている。	同じ事を繰り返さないよう回覧したり職員会議を持ち共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	・研修に参加して職員間で共通理解をしている。 ・社外研修の参加と報告をしている。	毎年参加し、事業所内伝達研修をしている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	0	契約時に説明している。	保護者様に十分な説明をし支援計画にも記載して理解を得ている。